

# 地域の教育活性化とスクールリーダー

愛媛大学大学院

教授 露口 健司



独立行政法人教職員支援機構

# 目次

---

1. これからの学校と地域の連携・協働の姿
2. つながりとは何か？
3. 校区におけるつながりの単位
4. つながりの教育効果
5. つながり醸成のプロセス
6. つながりづくりに効果的なリーダーシップ

# 1. これからの学校と地域の連携・協働の姿

---

# 1. これからの学校と地域の連携・協働の姿

- ◆ これからの学校と地域の連携・協働の姿として、以下の姿を目指す。
  - 地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「**地域とともにある学校**」への転換
  - 地域の様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく「**子供も大人も学び合い育ち合う教育体制**」の構築
  - 学校を核とした協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る「**学校を核とした地域づくり**」の推進

**校区における人々のつながりを醸成することが大切!!**

中央教育審議会（2015）  
「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」

# 「次世代の学校・地域」創生プラン (平成28年1月25日)

～中教審3答申の実現に向けて～

答申③←教育再生実行会議第7次提言

答申②←教育再生実行会議第7次提言

答申①←教育再生実行会議第6次提言

### 教員改革 (⇒資質向上)

養成・採用・研修を通じた  
不断の資質向上

**現職研修改革**

- ベテラン段階
  - 管理職研修の充実
  - マネジメント力強化
- 中堅段階
  - ミドルリーダー育成
  - 免許更新講習の充実
- 1～数年目
  - チーム研修等の実施
  - 英語・ICT等の課題へ対応

**採用段階の改革**

- 採用試験の共同作成
- 特別免許状の活用

**養成段階の改革**

- インターンシップの導入  
学校現場や教職を早期に体験
- 教職課程の質向上

**教員育成指標** ←都道府県が策定

**育成指標策定指針** ←国が大綱的に提示

### 学校の組織運営改革 (⇒チーム学校)

校長のリーダーシップの下  
下学校を運営

校長

事務職員

教員

社会に開かれた教育課程  
よりよい社会を作るとい目標のもと  
教育課程を介して地域社会とつながる学校

子供

保護者

教員をバックアップする  
多様なスタッフ

- スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー
- 地域連携の中核を担う教職員

校長のリーダーシップの下学校を運営

・学校運営の基本方針  
・学校運営や教育活動 等

予算の執行管理、情報管理等により  
校長のマネジメントを支える  
※共同実施により学校の事務を効率化

授業等の学習指導等  
生活指導等・保護者対応 等

子供への個別カウンセリング  
いじめ被害者の心のケア 等

子供へのカウンセリング等に基づく  
アドバイス  
校内研修の実施 等

困窮家庭への福祉機関の紹介  
保護者の就労支援に係る助言 等

### 地域からの学校改革・地域創生 (⇒地域と学校の連携・協働)

コミュニティ・スクール

学校運営協議会

- 校長のリーダーシップを応援
- 地域のニーズに応える学校づくり

**要・法改正：地方教育行政法**

地域学校協働本部

保護者・地域住民・企業・NPO等

地域の人々が学校と連携・協働して、  
子供の成長を支え、地域を創生

学校を核とした地域の創生  
次代の郷土をつくる人材の育成、まちづくり

連携・協働

地域コーディネーター

「地域学校協働活動」の推進

- 郷土学習・地域行事・学びによるまちづくり
- 放課後子供教室・家庭教育支援活動 等

要・法改正：免許法、教員センター法、教特法

要・法改正：学校教育法、地方教育行政法

要・法改正：社会教育法

「次世代の学校」の創生に必要な不可欠な教職員定数の戦略的充実

子供たちが自立して活躍する「一億総活躍社会」「地方創生」の実現

## 2. つながりとは何か？

---

## 2. つながりとは何か？

「つながり」は抽象的な用語ですが、つながりを「資本」と捉えるソーシャル・キャピタル理論の視点から整理すると分かりやすくなります。

### ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）とは

調整された諸活動を活発にすることによって社会の効率性を改善できる、信頼、規範、ネットワークといった社会組織の特徴（パトナム 2001）

つながりは、信頼・規範・ネットワークの視点から整理できる

## 2. つながりとは何か？

### つながりの構成要素

深  
ま  
り

1. 所属・対話交流（ネットワーク）  
⇒ 集団への所属、他者との対話交流活動
2. お互い様の規範（互酬性規範）  
⇒ 協働活動の中での相互支援、恩義の貸し借り
3. 信頼関係（信頼）  
⇒ 不確実な状況下での他者からの支援期待

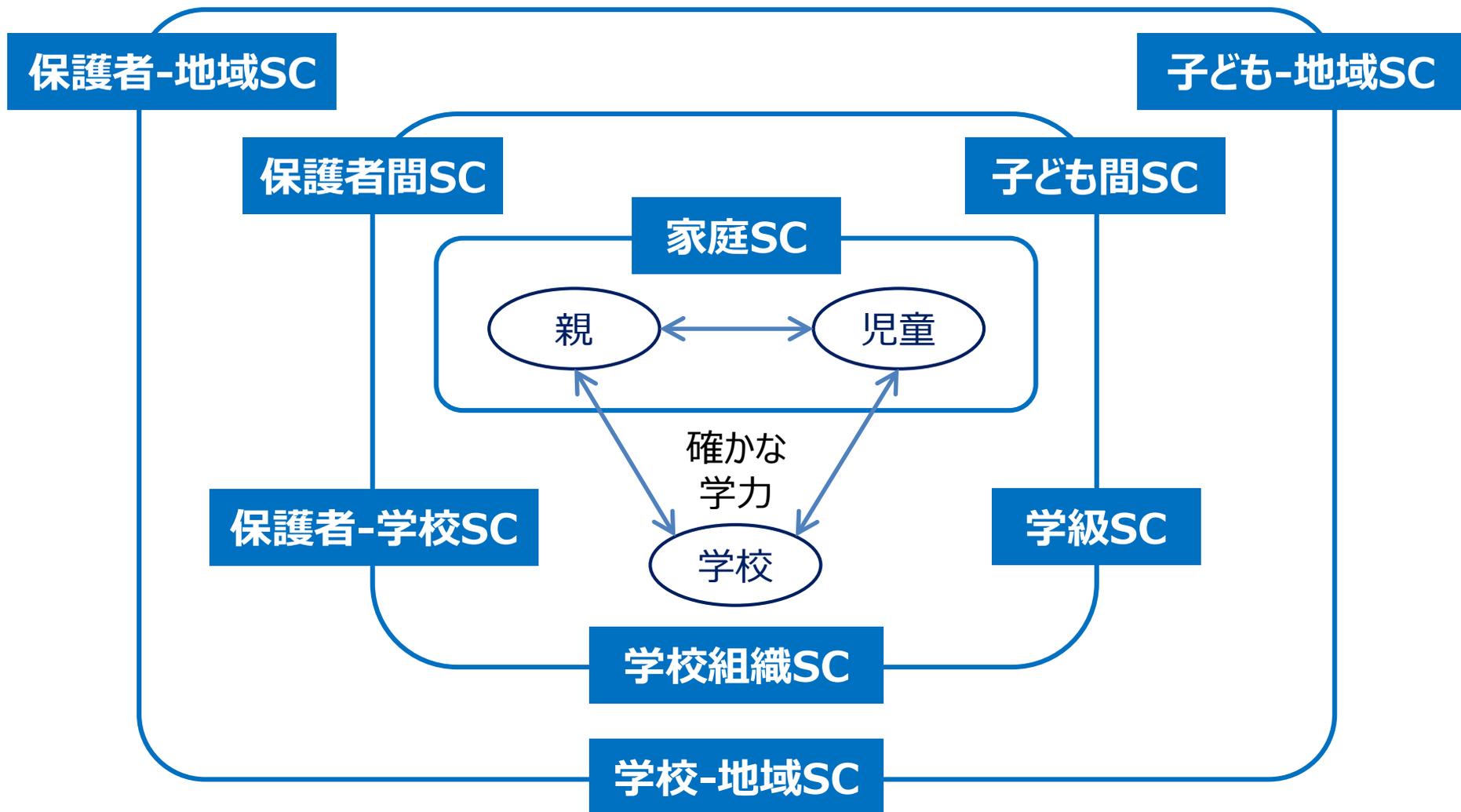
広がり

絆（きずな）  
への近接

### 3. 校区におけるつながりの単位

---

### 3. 校区におけるつながりの単位



SC = Social Capital

## 4. つながりの教育効果

---

## 4. つながりの教育効果

### コールマン（2006）

家庭内／家庭外のソーシャル・キャピタルが子どもの退学抑制に効果を有する。「世代間閉鎖性（二世代間の閉鎖的ネットワーク）」への着目。

社会関係資本は人的資本を拡充する  
「つながりづくりは、人づくり」

その後、子どもを取り巻くつながり、教師を取り巻くつながり、親を取り巻くつながりの効果（認知的能力・非認知的能力の向上、進学状況、退学抑制、問題行動抑制、教師や親の成長）が明らかになる（[露口2016a, 2016b, 2019](#)）。

### パトナム（2015）

地域の人々が、「我らの子ども」として地域の子ども達を見守り、関わろうとする価値規範を持つことが、地域崩壊を抑止し、地域再生に導く上で極めて重要。

## 5. つながり醸成のプロセス

---

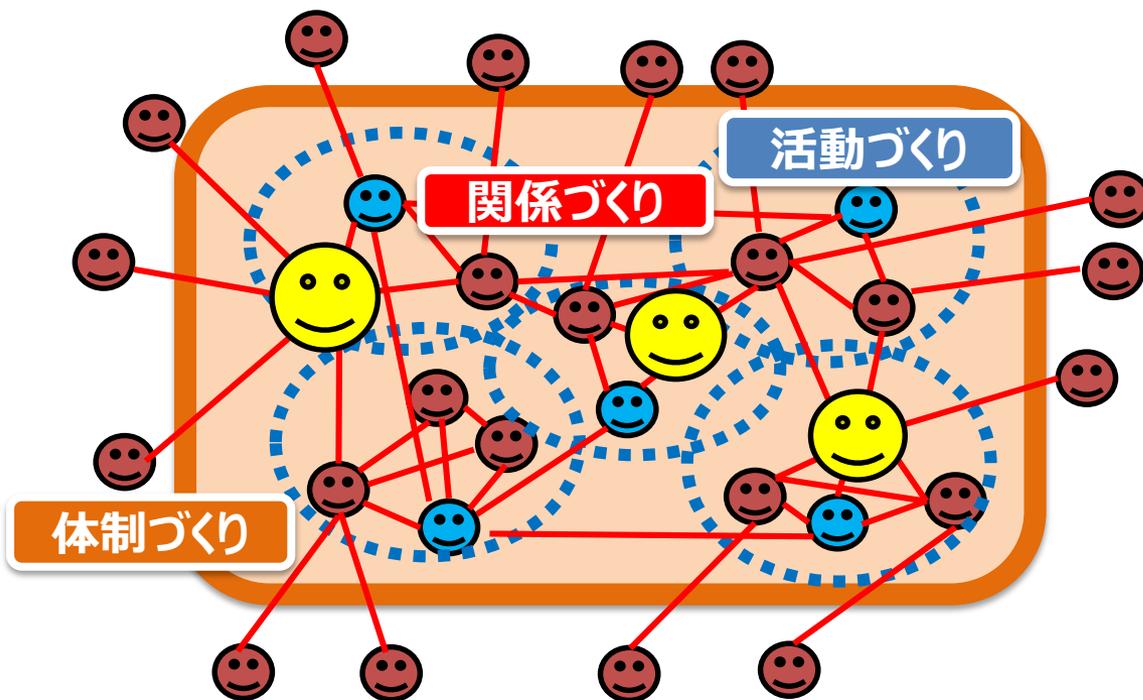
# 5. つながり醸成のプロセス



教職員



地域住民



- ① **体制づくり**   
人々がかかわるためのネットワーク
- ② **活動づくり**   
お互い様の規範を高める協働活動
- ③ **関係づくり**   
信頼を高める



コミュニティ・リーダーの出現

## 6. つながりづくりにも効果的なリーダーシップ

---

## 6. つながりづくりにも効果的なリーダーシップ

### ウェルビーイング・リーダー 幸福は人々に伝播する!!

1. 感謝の気持ちを表す
2. 楽観的になる（計画は悲観的に、行動は楽観的に）
3. 他者と比較しない（隣の芝生の青さを喜ぶ）
4. 親切に接する
5. 人間関係を育てる（対話の時間、スキンシップ）
6. ストレスの抵抗力を持つ（ストレスは人生において必要不可欠）
7. 人を許す（憎悪の感情を取り除き、寛大と慈愛の感情を取り込む）
8. 熱中できる活動を増やす（天職としての職業観、集中・没頭経験）
9. 喜びを深く味わう（楽しかった思い出話）
10. 目標達成に全力を尽くす（幸福は目標を追い求めることから生まれる。達成から生まれるものではない。）
11. 運動する（協調して行う運動が望ましい）
12. 笑う、笑顔で過ごす

# 主要参考文献

- コールマン・J・S (2006翻訳) 『リーディングスネットワーク論－家族・コミュニティ・社会関係資本－』 勁草書房
- 露口健司 (2016a) 『ソーシャル・キャピタルと教育－つながりづくりにおける学校の役割－』 ミネルヴァ書房
- 露口健司 (2016b) 『つながりを深め子どもの成長を促す教育学－つながりを築きやすい学校組織・施策とは－』 ミネルヴァ書房
- 露口健司 (2019) 『ソーシャル・キャピタルで解く教育問題』 ジダイ社
- パトナム・D・R (2001翻訳) 『哲学する民主主義－伝統と改革の市民的構造－』 NTT出版
- パトナム・D・R (2015翻訳) 『我らの子ども－米国における機会格差の拡大－』 創元社

# 地域の教育活性化とスクールリーダー

愛媛大学大学院

教授 露口 健司



独立行政法人教職員支援機構